令和６年度　事業報告書

学校法人　開　　新　　学　　園

開新高等学校

熊本工業専門学校

ながみねこども園

ながみね乳児保育園

事　業　報　告　書

1　法人の概要

⑴　設置する学校・学科・定員・現員数（令和７年度）

① 開新高等学校　（単位　人）

学科名	学則定員				新年度員数(予定)			
	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計
土木建築科	80	80	80	240	73	55	50	178
電気情報科	80	80	80	240	119	58	66	243
自動車科	80	80	80	240	85	85	67	237
機械科	80	80	80	240	73	56	52	181
総合学科	80	80	80	240	92	82	83	257
普通科	100	100	100	300	76	100	64	240
計	500	500	500	1500	518	436	382	1336

② 熊本工業専門学校　（単位　人）

学科名	学則定員			新年度員数(予定)		
	1年	2年	計	1年	2年	計
自動車整備工学科	80	80	160	72	80	152
半導体工学科	80	80	160	50	0	50
電気システム科	募集	停止	—		24	24
機械システム科	募集	停止	—		12	12
日本語科	60	60	120	39	43	82
計	220	220	440	161	159	320

③ ながみねこども園　（単位　人）

内訳	定員	新年度員数		
		1号	2号	3号
0歳児	—			7
1歳児	—			13
2歳児	—			17
3歳児	—	4	25	
4歳児	—	6	26	
5歳児	—	5	26	
計	135	15	77	37

④ながみね乳児保育園　　（単位　人）

内　訳	定　員	新年度員数 （３号）
０歳児	—	0
１歳児	—	10
２歳児	—	10
計	１９	20

（２）　役員の概要

区　分	内　訳	現員数	備　考
理　事	開新高校校長	1	寄付行為７条１項１号
	理事選任機関において選任した者	8	〃　７条１項２号
評議員	法人職員	4	〃　29条１項１号
	卒業生	3	〃　29条１項２号
	学識経験者	3	〃　29条１項３号
	育友会	2	〃　29条１項４号
監　事		2	〃　21条１項

２　教職員の概要

①開新高等学校

区　分	職　名	人員	備　考
教　職	専任教諭	64	
	養護教諭	1	
	常勤講師	36	
	専任助手	3	
	実習助手	2	
	英語指導助手	0	
	非常勤講師	7	
	カウンセラー	1	
事務職	専任事務	12	
	常勤事務	2	
その他	守衛	1	
	技師（用務員）	1	
	計	１29	

② 熊本工業専門学校

区　分	職　名	人員	備　　考
	専任教官	7	
	常勤教官	6	
	常勤教官（実習助手）	4	
	非常勤講師	２３	
事務職	専任事務	1	
	専任技師	0	
	常勤事務	5	
	嘱託	1	
	非常勤事務		
	計	４７	

③ながみねこども園

区　分	職　名	人員	備　　考
技術職	副園長	1	
	専任主任保育教諭	1	
	専任保育教諭	10	
	常勤保育教諭	12	
	非常勤保育教諭	3	
	常勤准看護師	1	
	専任調理師	1	
	専任栄養教諭	1	
	常勤調理師	1	
	非常勤調理師	3	
事務職	専任事務	1	
計		３５	

④ながみね乳児保育園

区　分	職　名	人員	備　　考
	副園長	1	
	専任保育士	2	
	常勤保育士	3	
	非常勤保育士	0	
	非常勤調理師	0	
事務職	常勤事務	0	
計		6	

3　令和６年度事業報告（概要）

令和 6 年度は、開新学園の人的新体制を確立する年であった。年度当初 3 月に故江藤理事長の逝去により、6 月 1 日に、甲斐達也氏が新理事長に就任され、4 月 1 日には、勇退の田中校長の後任に馬場校長が就任。12 月には、山田工専校長の勇退により西島新校長が就任。理事会においても、水谷茂理事、福田岸夫理事、森田粋彌理事など長年開新学園を支えていただいた重鎮の方々の引退もあった年となった。

そこで、学園の新体制を模索しながらも、少子化による学校間競争の激化、ＴＳＭＣの熊本進出等社会経済情勢の動きに的確に対応しながら、学園経営の安定化に向け生徒・学生数の確保のためのチラシやパンフレット作製・配布などの広報の強化や、半導体関連施策の魅力付けを行った。

その中で、大学をはじめ本学園の半導体教育に協力・アドバイスを頂ける機関と積極的に連携協定の締結を行った。令和 6 年 10 月に東海大学熊本キャンパスと、11 月には台湾の明新科技大学と、令和 7 年 3 月には株式会社ワールドインテックと連携協定を締結した。

開新高等学校は、転退学者数の増加に苦慮していたが、令和 6 年度は減少に転じた。この流れを一過性のものにすることなく、その原因究明を図り歯止めをかけるための学校の魅力付けを図る。

熊本工業専門学校は、長期に渡る赤字が再三学園経営上看過できないと指摘されてきた。令和 7 年度は、留学生増に成果が上がり黒字化に転換できる見込みであり、先行して令和 6 年度に校舎雨漏り修繕を行ったところ。

ながみねこども園は、経営は順調であり、この流れを継続させるが、今後は少子化に伴う幼児数の減少が見込まれ、先を見据えた魅力策を検討する。

■　学園の取組み

<u>時代の要請に即応した経営方針の構築</u>

- 半導体関連教育の推進
- 施設整備の充実
  新しい機械設備の導入、充実
- 広報活動の強化

■開新高等学校

Ⅰ魅力ある学校づくり

（ア）学力の充実
（イ）日頃の頑張りが将来を開く意識づくりの徹底
（ウ）青春を燃焼させる体験の創造
（エ）自分たちの学園意識の創造
（オ）辞めさせない指導体制づくり

Ⅱ生徒募集、進路対策強化

（ア）生徒募集、進路対策のための戦略作りと果断な実践

（イ） 開新ブランドの確立

（ウ）開新突破プランによる自己変革・自己管理の推進

Ⅲ 健全な心身の育成

（ア）徹底した人間教育

（イ）節目を意識させる教育

（ウ）誠実勤勉な態度の育成

■ 熊本工業専門学校

① 学生募集の強化

（ア） 本科学生の確保

（イ）留学生の確保（日本語科）

（ウ）広報の強化（テレビ・新聞・各種媒体の活用）

② 各科の特色づくり

（ア） 関連企業との連携による職場実習

（イ） ＡＩ（人工知能）教育・ドローン技術教育の実施

（ウ） 半導体技術者検定合格を目標としたカリキュラムの強化

（エ） 総合自動車整備士資格合格を目標とした実習の強化

（オ）（語学）英語

■ながみねこども園・ながみね乳児保育園

教育・保育方針

・興味や探究心を大切にし、集中力や学習力を育てます。
・相手の気持ちを思いやる心、譲り合う心を育てます。
・達成感を味わわせ、前に進む気力を育てます。
・のびのびと遊びたくなる環境を整え、健全な身体の発育を促します。
・栽培活動を通して食への感謝の気持ちを育てます。